



来年度予算要望書を区長に提出する共産党区議団

日本共産党区議団と江東地区委員会は11月1日、この間、区内施設の調査や各界の団体のみなさんと懇談を重ね、2012年度予算編成に盛り込むべき453項目にわたる「予算要望書」を区長に提出しました。



江東区地先の中央防波堤ゴミ処分場を視察

多摩地域の下水放射能汚泥を江東区の地先にある中央防波堤の埋め立て処分場に受け入れると東京都が表明したことを受け、共産党区議団は10月25日に現地視察を行いました。

レポート

レポート

レポート

議会の論戦から

正保みきお議員



土木現業職員は「退職不補充」で、新規採用ゼロ。その結果、30名に激減し、5年後は15名に半減。大規模災害時、水防対策マニユアルでは、同職員48名で現地処理にあたり、計画的な職員採用を提言しました。ところが、区は「協力業者に活動してもらう」と答弁。しかし、協力業者の被災も想定しておくべきで、安易な職員削減はやめるべきです。

土木現業職員は、10年以上も退職不補充 5年後15名に半減、これでは区民の生命守れない。

土木現業職員は「退職不補充」で、新規採用ゼロ。その結果、30名に激減し、5年後は15名に半減。大規模災害時、水防対策マニユアルでは、同職員48名で現地処理にあたり、計画的な職員採用を提言しました。ところが、区は「協力業者に活動してもらう」と答弁。しかし、協力業者の被災も想定しておくべきで、安易な職員削減はやめるべきです。

大つきかおり議員



スクールカウンセラーの拡充を

22年度、小学校では48人、中学校では202人の子どもたちが不登校となっています。江東区は、各学校に週一回、スクールカウンセラーを派遣していますが、大つき議員は、いつでも気軽に相談できるように、派遣回数を増やし専任とするなど相談体制を強化するよう求めました。また、様々な家庭の事情から不登校になる子どももいることから、福祉的な立場で対応できるスクールソーシャルワーカーの配置を行うよう求めました。

そえや良夫議員



江東区に夜間中学を

夜間中学は、経済的理由やいじめその他の理由などで学齢期終了までに義務教育を受けられなかった人が基礎学力とともに生きる力を身につける大事な場となっています。そえや議員は、区内在住者が墨田区などの夜間中学校に通っている実態を示し、江東区内にも設置するよう求めました。区は「今、区内に夜間中学をつくる考えはない」などと答えました。

斉藤信行議員



多摩の下水放射能汚泥を江東区地先の埋立地に安易に受け入れるな

多摩地域の放射能汚染の下水汚泥を江東区地先の「中央防波堤埋立地に受け入れる」と都は10月12日、区議会清掃港湾委員会に報告にきました。放射線量は、1万7千ベクレル/kgで国が埋立可能と定めた8千ベクレルの2倍もあります。区民や処分場に近い区南部地域の住民には何の説明もなく埋め立てるものです。江東区は「ゴミ迷惑」の歴史です。

斉藤区議は、「多摩の放射能汚泥を安易に受け入れるべきでない」と主張し「発生地処理」を求めました。

すがや俊一議員



後期高齢者医療制度保険料大幅値上げやめよ

後期高齢者医療の向こう2年間の保険料について、東京都広域連合は、これまでの保険料軽減策を継続した場合でも、平均で年1万4千円の値上げ。軽減策をやめた場合には、年金収入211万円(2人世帯)の保険料約8万円が10万円以上になるとの試算を発表。民主党政権は公約を投げ捨て、同制度の廃止を先送りし、保険料軽減策も示していません。区として、国や都に財政支出を求め、値上げ中止を迫りました。

きくち幸江議員



内部河川を浄化し、きれいな水辺を

菊池議員は、改修工事が行われカヌー・カヤック場、水上アスレチックなどが開設された堅川公園の水辺環境をきれいに保つため、浄化・清掃を強化するよう求めました。また、まもなく基盤工事が始まる横十間川の修景工事については「観光に役立つようなものに」「自然を感じられる遊歩道に」など、区民から出されている要望を示し、区民意見を反映したものとすよう求めました。

赤羽目たみお議員



商店街振興に全力を

長引く不況の中で、商店街は厳しい状況に置かれています。近年、コンビニエンスストアなど、チェーン店が商店街に急増し追い打ちをかけています。赤羽目議員は、チェーン店等も商店街の活性化に協力するよう指導すべきとたどしました。また、街路灯のLED化促進や空き店舗対策の拡充を図るよう求めました。区は、「チェーン店に指導している」「LED化は進めていく」「空き店舗対策は見守っていく」と答弁しました。